

分別がごみを変える

～ごみ問題について考える～

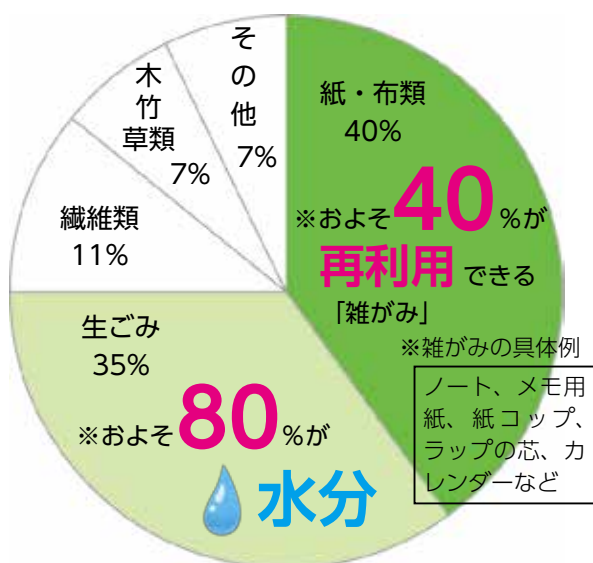
私たちの生活と密接に関わりがある「ごみ」。捨ててしまえばごみですが、分別すれば資源として再利用できるものもたくさんあります。

島原市のごみの現状を理解し、ごみの減量化について一緒に考えます。

▶問い合わせ先 環境課（☎ 62-8017）

燃やせるごみの内訳

およそ1万トン ※事業系ごみは含みません



数字で見える！家庭のごみ

燃やせるごみ ※平成29年度実績

○収集・運搬・処理費用（年間）

およそ **5億** 円

○一人当たりの処理費用（年間）

およそ **1万1000** 円

○家庭から出るごみの排出量（年間）

およそ **1万トン**

家庭ごみの現状を知る

○ Interview

市民皆さんに聞いてみました



ごみ処理費用が**5億円**もするなんて想像が付きませんでした。私は4人家族なので、年間4万4000円の処理費が掛かっていることを知って驚きです。ごみの量を減らせば負担が減るので、これからは家計のためにも減量に取り組もうと思います。

生ごみに水分が**80%**も含まれることを知って驚きました。また、紙・布類のうち**40%**が**再利用**できる「雑がみ」が含まれることが分かったので、「紙は燃えるから」といって捨ててしまうのがもったいないことだと思いました。



生ごみを使って 美味しい野菜を育てる

○ Interview

「有明ボカシの会」のごみ減量に対する取り組み



▲収穫したての野菜を手に取り笑顔の荒木さん（左）と坂田さん（右）

美味しい野菜を 簡単に育てられます

毎日出る生ごみに「EM ぼかし※1」を混ぜてたい肥を作り、家庭菜園で野菜を育てています。生ごみに EM ぼかしを混ぜるだけで腐敗臭がなく、水分をしぼる手間もかからずたい肥ができるので、誰でも簡単に取り組みます。

自分で育てた無農薬野菜はとても美味しく、作る喜びも大きいです。簡単にごみを減らすことができるので、皆さんも始めてみませんか。



① コンポスト（※2）に生ごみを集め、EM ぼかしを混ぜ、たい肥化します



② 畑に①でできた生ごみを広げ、土に混ぜます



③ 必要な広さに応じて①～②の作業を繰り返します



④ 育てた野菜を収穫します

※1 EM ぼかし…米ぬかに EM（有用微生物群）、糖蜜、キトサンなどの材料を混ぜ込み、1 カ月ほど発酵させたもの

※2 コンポスト（生ごみ堆肥化容器）…生ごみと EM ぼかしを混ぜたものを入れ、発酵させることでたい肥を作る道具



市ではコンポストの購入者に対し、1 個につき 2000 円（2 個上限）を補助しています。

4月1日から新しい分別方法がスタートします

分別の 変 更 点

「**その他不燃物**」のうち、DVD・ビデオテープ・バケツ・洗面器などの**金属を含まない**プラスチック製品を「**その他プラスチック**」として分別して出すようになります。

3月31日まで

「その他不燃物」

金属・陶器・プラスチック製品（例）



さらに分別

プラスチック
金属を含まない

4月1日から

「その他不燃物」

金属・陶器（例）



「その他プラスチック」

プラスチック製品（例）



詳しい内容は、右のQRコードから確認するか、環境課（☎ 62-8017）に問い合わせてください。

ごみの分別区分が変わります。（市 HP）

ごみ収集日程表



ごみステーション化の 推進に取り組みます



段階的に移行



ごみのステーション化を進める **理 由**

① 効率化を目指します

ごみの収集時間を短縮すること
で作業の効率化を図ります。

このことにより、経費を削減す
ることができ、市民皆さんのため
の各種事業施策の財源に充てるこ
とができます。

② 景観保全に努めます

島原城や鯉の泳ぐまち、湧水や
城下町など、観光名所の多い島原。
ステーションを設置し、ごみを
集約することで、観光都市・島原
の景観を守ることができます。

③ 安全性の向上や渋滞 の緩和を目指します

狭い道路や交通量の多い道路で、
頻繁に収集車を停車させることは
渋滞の原因につながります。
歩行者と作業員の安全性の向上
や交通渋滞の緩和が期待できます。

※高齢や障害などの理由で、家庭ごみをごみステーションまで運ぶことが困難な世帯を対象に、自宅の玄関先でごみを収集する「ふれあい収集（ごみ出し支援）」を実施しています。詳しくは環境課に問い合わせてください

※市では段階的に民間収集を始めます。4月1日から有明地区を対象に実施します